平成20年度ワンデーレスポンスモデル工事　アンケート結果一覧表

番号	工期短縮日数	質問回数	ワンデー回答回数	受注者と発注者間のコミニュケーションは、通常の工事と比べ増大したと思いますか。	事務所内での、報告・連絡・相談は増大したと思いますか。	迅速な対応は、監督員の技術力の向上につながると思いますか。	建設工事の実施目的を意識した取り組みができたと思いますか。	モデル事業のメリットと思われることを記入してください。	モデル事業の問題点、改善点について記入してください。	その他に感想や意見がありましたら記入してください。	受注者と発注者間のコミュニケーションは、通常の工事と比べ増大したと思いますか。	社内での、報告、連絡、相談は増大したと思いますか。	工事担当者の技術力の向上につながったと思いますか。	コスト縮減につながったと思いますか。	建設工事の実施目的を意識した取り組みができたと思いますか。	モデル事業のメリットと思われることを記入してください。	モデル事業の問題点、改善点について記入してください。	その他に感想や意見がありましたら記入してください。	CCPMについて内容を理解していますか	CCPMのメリットと思われることを記入してください。	CCPMの問題点、改善点について記入してください。	CCPMについて内容を理解していますか	社内の協力体制は変わったと思いますか。	CCPMのメリットと思われることを記入してください。	CCPMの問題点、改善点について記入してください。
1	6	3	3	×	×	×	×	△	適、不適がある	変更に絡むものは無理	×	×	×	×	×	目標の認識										
2	0	6	6	○	○	△	○	早期竣工を目指すこと	協議内容一覧の様式		○	○	○	○	○	現場作業が円滑に進む	やりとりの記録方法	ODSCの内容が不明								
3	7	6	3	○	○	○	○	事務処理に余裕ができた		急ぐことによる間違いの発生の危惧	○	○	○	○	○	施工に余裕が出た		良い事業								
4	0	5	5	×	×	○	○		質問の程度が不明確	軽微なものは不要	○	○	○	○	○	理解が得られた	工期短縮	勉強になた								
5	0	4	4	×	×	△	○	意識の向上	具体的な内容が不明	事業内容の説明不足	×	×	△	×	×	意識の向上	具体的な内容が不明									
6	0	7	6	○	×	○	○	現場に行く機会が増える	書類作成の増加		○	○	○	△	△	工期短縮	社内の支援体制の強化	仲間に聞く機会が増えた	概要のみ理解							
7	0	5	5	×	×	×	×			大きな工事では効果が期待されるが担当が大変	×	×	×	×	○											
8	0	3	3	○	×	○	×	連絡が密になった		迅速な対応は当然、モデルは不要	○	○	○	×	○	回答が迅速であったこと										
9	0	1	1	×	×	○	○				×	×	○	×	○											
10	0	6	6	△	△	△	△				○	○	○	○	○	発注者とのコミュニケーションの増大	効果の検証必要									
11	0	7	6	×	×	○	○				×	×	×	×	○	早期対応が可能		現場の意見をよく理解してくれた								
12	0	3	3	×	△	○	×	報・連・相がスムーズになる	なじまない工事の選択を避ける	利益を上げるのは受注者のやる気	×	○	○	△	×	施工する上での安心感の増加			理解している			理解している				
13	0	6	6	×	×	×	○	回答するという意識の向上		効果の検証必要	○	○	×	×	○	質疑事項の早期解決	様式の雛形必要	メールの活用を図る	理解していない	工期の余裕の把握が可能	研修会が必要	△	△	進捗状況が分かりやすい	管理表の作成方法が不明	
14	0	5	5	×	×	×	○	意識の向上	書類作成事務の減少	当たり前のこと、モデル事業不要	○	○	○	○	○	発注者側の対応の向上	書類作成方法の説明不足	制度そのものは良いこと	少し理解	工程管理の意識向上	研修会が必要	△	社内の協力が増えた	工程管理の精度の向上	研修会が必要	
15	1	15	15	○	○	○	○	役立つものとは思う			○	○	○	○	○	仕事にメリハリがつく			概ね理解	優先順位の把握		理解している	社内の協力が増えた	仕事の優先順位の把握が容易		
16	0	15	15	×	○	○	○	報・連・相の再認識		受注者の意識の欠如	×	×	△	×	○	監督員に聞きやすくなった										
17	0	3	3	×	○	○	○	意識の向上	書類作成事務の減少		×	×	×	×	○	意識の向上										
18	0	3	3	×	○	○	○	受注者の負担軽減			×	○	○	○	○	信頼関係の増大			理解している			理解している	○			
19	8	16	16	○	○	○	×	良い経験となる	事務量の軽減	工期を意識するようになった	○	○	○	○	○	新知識、新技術の早期導入		ODSCは無駄、業界での統一した研修が必要	理解している		余裕の無い工程で雨季にはつらい	理解している				
20	3	19	15	×	×	○	○	対応状況の自己点検が可能			×	×	○	×	○	技術力の向上につながる		ODSCにより事業目的が明確となった	理解している	工期の余裕の把握が可能	工程表を作成できる人が少ない	理解している	得られなかった	進捗状況が分かりやすい	協力体制がないと担当はつらい	
21	3	4	4	○	○	○	○	ODSCによる意識の向上	記録作成の事務の軽減	アンケート内容の早期例示	○	○	○	○	○	工事の目的が明確となる	説明会を実施すべき	進捗率のアップにつながった	理解している	今何をすべきかが明確となる	説明会の実施	理解している	○	積極的な取組みができる	良い事例を紹介されたい	
22	0	5	4	×	×	×	○		事務量の軽減	目的について共通認識が持てた	×	×	×	○	×	監督員の対応が良い	事務量の軽減	あたりまえのこと。記録不要								
23	0	2	2	△	×	×	○				○	○	○	○	○	取り組む姿勢が向上した	モデルの選択に配慮が必要		疑問が残る	工事目的の意識付けができる		理解している	×	進捗状況が分かりやすい		
24	24	3	3	○	△	○	○	両者の連携が密になった	記録作成の事務の軽減		○	○	○	○	○	意識の向上			疑問が残る	進捗状況の把握が容易	発注者側にも知識が必要	理解している	ソフト購入を検討	管理方法として使える	作成書類の軽減が必要	
25	0	10	10	×	○	△	○	迅速な対応という意識の向上	記録作成の事務の軽減	関連ファイルの所在不明	○	○	○	○	○	工事がスムーズに施工できる			疑問が残る		用語の意味不明		○			
26	0	4	4	×	×	×	×	迅速な対応という意識の向上	協議の定義が不明	当たり前のこと、モデル事業不要	×	×	×	×	×	早期に回答が得られる	事務量の軽減	経験の浅い監督員には良い制度								
27	0	2	2	○	○	○	○	掲示板による工程の把握	ペーパー以外の協議記録方法の検討	受注者に好評だった	○	○	○	○	○	円滑な工程管理の確保			理解している	工程管理能力の向上	業務負担の増大	理解している	○	無駄の排除		
28	0	16	8	○	○	△	○	コミュニケーションの増大	時間に追われることから自ら回答する姿勢が後退		○	○	○	×	○	早期に回答が得られる		対象工事の種類に疑問	少し理解	進捗の明確な把握	工程修正回数の増加	少し理解	○	コスト縮減につながる	
29	0	4	4	×	×	○	○	事業目的の再確認		19年度より書類が簡素化	○	○	○	○	○											
30	0	13	13	△	○	△	○	事業目的の再確認	当たり前のこと、書類軽減	書類軽減	○	○	×	○	△	円滑な工程管理の確保		良質な出来映えの確保								
31	0	7	6	○	○	○	○			より簡略化して継続	○	×	×	×	△	施工中断の防止	支障物件で工程に遅れ、なじまない	制度の活用を図りたい								

平成20年度ワンデーレスポンスモデル工事　アンケート結果一覧表

番号	工期短縮日数	質問回数	ワンデー回答回数	受注者と発注者間のコミュニケーションは、通常の工事と比べ増大したと思いますか。	事務所内での、報告・連絡・相談は増大したと思いますか。	迅速な対応は、監督員の技術力の向上につながると思いますか。	建設工事の実施目的を意識した取り組みができたと思いますか。	モデル事業のメリットと思われることを記入してください。	モデル事業の問題点、改善点について記入してください。	その他に感想や意見がありましたら記入してください。	受注者と発注者間のコミュニケーションは、通常の工事と比べ増大したと思いますか。	社内での、報告、連絡、相談は増大したと思いますか。	工事担当者の技術力の向上につながったと思いますか。	コスト縮減につながったと思いますか。	建設工事の実施目的を意識した取り組みができたと思いますか。	モデル事業のメリットと思われることを記入してください。	モデル事業の問題点、改善点について記入してください。	その他に感想や意見がありましたら記入してください。	CCPMについて内容を理解していますか	CCPMのメリットと思われることを記入してください。	CCPMの問題点、改善点について記入してください。	CCPMについて内容を理解していますか	社内の協力体制は変わったと思いますか。	CCPMのメリットと思われることを記入してください。	CCPMの問題点、改善点について記入してください。
32	0	3	3	○	○	○	○	上司とのコミュニケーションの増大	両者の共通認識の確立	モデル工事の周知	○	×	○	×	○	回答期限が明確になること	三方良しの環境づくり									
33	0	30	30	○	×	△	○	工程管理の意識の向上	アンケートの廃止	早期回答の焦りだけが募る	○	×	×	△	○	意識の向上			△	工程管理意識の向上	理論の理解	理解している	×	意識の向上	多工種の場合工程管理複雑
34	0	5	5	○	△	△	○	着手時の詳細な工程検討	年度末には大変な負担	評定をアップしたい	△	△	△	△	○	回答がすぐに得られる	工程管理が大変	メールの活用を一層図る	○	次の作業が分かり易い	全体の進捗率が分かりづらい	○	○	資材の手配時期が把握し易い	表の管理に時間がかかる
35	4	10	10	×	×	○	○	メリットはない			○	○	○	×	○				概ね理解	工程の把握が容易	書類が増える	理解している	○	工程の管理がし易い	
36	6	記載なし	記載なし	×	×	○	×	作成書類の増大	アンケートの早期作成依頼		△	○	○	△	○	回答が早い			概ね理解	進捗が目に見える	書類が増える	少し理解	△	工期短縮	変更の表作成が大変
37	26	記載なし	記載なし	○	○	○	○				△	○	○	○	○	他から注目される		天候による工程表の改変が大変	理解している	進捗状況の把握が容易	求める工程表の一本化	理解している	○	工程の管理がし易い	期間の短い工種は改善余地なし
38	14	24	23	○	○	○	○	課内のコミュニケーションの増大			○	○	○	×	○	目標設定によりやる気が増大			△	煩雑な工事ほど効果が発現		△	協力体制得られた	目標設定によりやる気が増大	工程表の作成に時間がかかる
39	0	6	6	○	△	○	○	緊張感が出る			△	○	○	○	○	慎重な施工管理の実現			概ね理解	進捗状況の把握が容易	工程表の作り方が複雑	理解している	○	コミュニケーションの増大	資料作成が大変
40	0	17	17	×	○	×	○	課内での報・連・相の増大	担当の技術力の低下につながる恐れ		○	△	○	×	○	問題解決までの時間短縮	実施内容の相互理解不足		△			△	△	目標設定によりやる気が増大	実施内容の理解不足
41	37	6	6	○	○	○	○	受注者との協働意識の増大			○	○	○	△	○	順調な工事の進捗		求める工程表の一本化	理解している	進捗状況の把握が容易		理解している	△	コミュニケーションの増大	
42	0	記載なし	記載なし	○	○	○	○	工程管理の意識の向上			○	△	○	△	○		発注者の契約工期の取り方に疑問		○	進捗状況の把握が容易	残業時間の増大	○	△	工程の管理がし易い	工程表の作成に時間がかかる
43	11	記載なし	記載なし	○	△	○	△	目的意識の明確化			○	△	○	○	○	早期対応による円滑な工程管理の確保			○	工程の把握が容易		○		工期短縮に効果	工程表の作成に時間がかかる
44	4	6	6	○	○	△	○	受注者に迷惑を掛けまいという意識が向上		早い対応はあたりまえに必要なこと	○	△	△	△	○	円滑な工程管理の確保			△	工事の段とりの把握が容易	５０％確率の意味不明	△	△	工程の管理がし易い	
45	36	3	3	○	○	○	○	技術力の向上につながる		受注者は工期短縮に精一杯努めた	○	○	○	○	○	目標設定によりやる気が増大	監督員の休暇や出張が工期に影響する	受注から着手までの期間短縮が大事	○	工程の把握が容易	工程表の様式を見直す	○	○	コミュニケーションの増大	資料整理で残業が増えた
46	0	15	15	○	△	△	○				○	△	○	△	○				○	工程の把握が容易	工程表を2種類作ることは問題			工程の管理がし易い	倒木処理など工期が読めないものには不向き
47	0	13	8	○	△	○	△	課内のコミュニケーションの増大		コミュニケーション不足による遅れを避けるのは責務	△	△	○	○	△	代理人の勉強になる	工期設定の根拠が不明		○	工程の把握が容易	受注者は土・日返上だった。CCPMの制度に疑問	△	△	残日数が分かる	工程表の様式の見直し
48	11	8	8	○	×	△	○	一体となって工事が進められる	工期の見直しが繁雑		△	△	○	△	○	工程の把握が容易		会社の事情により作業員の配置が決まる	△	遅れている工程の把握が容易	工程表の作成に追われることが問題	△	△	遅れに対する対策が立てやすい	勉強になったが、残業が増えた
49	44	2	2	○	○	△	○	課内のコミュニケーションの増大	残業の増大		○	△	○	○	○	コミュニケーションの増大			○	進捗状況を把握し易い	結果は当初の工期設定次第	○	△	工期短縮ができる	
50	27	2	2	△	△	△	○	工程管理の意識の向上		ワンデーはあたりまえで、実施している	○	△	△	△	○	目標設定によりやる気が増大	問題が起こりやすい現場では不向き		△	工程の把握が容易		○	△	工程の管理がし易い	残業の増大
51	1	2	2	○	○	○	○	監督員の勉強になる	工程管理難しい	委託業務でもメリットあった	○	△	○	○	○	目標設定によりやる気が増大		委託業務では難しい	○	工程の把握が容易	効果は不明	△	△	遅れに対する対策が立てやすい	
52	0	15	15	○	○	○	○	目的意識の明確化	早期回答に係る焦燥感の発生		○	○	○	○	○	工種ごとの工程計画の作成	協議の定義が不明								
53	7	3	3	×	×	○	○	協議経過が文書で残ること	所内、社内の支援体制の強化		○	×	○	×	○	現場作業が円滑に進む			概ね理解	両者一体となった工程管理の実施		概ね理解	×	進捗状況が把握し易い	
54	0	4	3	×	×	△	○			当たり前のこと、モデル事業不要	△	△	△	△	○			記録作成の事務の軽減							
55	56	5	4	○	○	○	○		対象工事選択時の配慮		○	○	△	○	○	協議経過が文書で残ること		監督員の協力に感謝							
56	5	1	1	×	×	△	×			当たり前のこと、モデル事業不要	○	△	△	△	○										
57	14	13	13	×	×	○	○	受注者にとり段取りの明確化																	